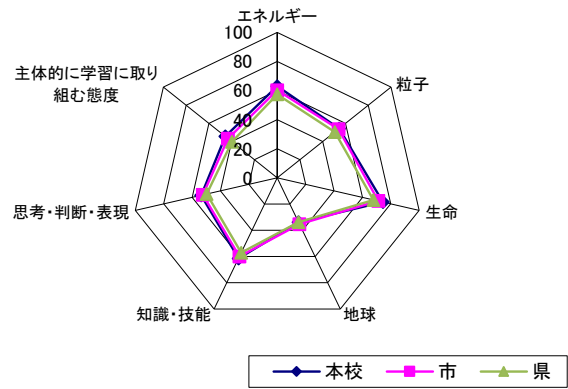


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	63.0	60.3	57.4
	粒子	54.5	53.8	50.7
	生命	74.5	71.2	67.8
	地球	33.8	35.3	33.8
観点	知識・技能	61.4	59.9	57.0
	思考・判断・表現	53.6	52.4	49.7
	主体的に学習に取り組む態度	45.7	43.3	39.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○平均正答率は市の平均を2.7ポイント上回った。 音の性質やフックの法則については身につけている。 ●光の屈折に関する問題では、県の平均を4.7ポイント下回った。	・光の進み方の作図や練習問題に繰り返し取り組み、知識の定着を図っていく。
粒子	○平均正答率は市の平均を0.7ポイント上回った。 密度や金属・非金属の分類、気体の区別方法についてはおおむね身につけている。 ●質量パーセント濃度を求める式について22.4ポイント、溶解度からの分析について28.4ポイントとあまり定着していない。	・質量パーセント濃度の計算問題や溶解度曲線を用いて分析する問題に繰り返し取り組んだり、解説しあったりして知識の定着を図っていく。
生命	○平均正答率は市の平均を3.3ポイント上回った。 植物の分類、脊椎動物の分類については知識が定着している。 ●軟体動物とそれ以外の無脊椎動物の分類について42.3ポイントと県平均は上回ったものの半数以上で知識が定着していない。	・脊椎動物以外について図や表を用いて丁寧に分類し、知識の定着を図っていく。
地球	○地震に関する問題では、平均正答率は県の平均を上回った。P波とS波については知識が定着している。 ●平均正答率は市の平均を1.5ポイント下回った。 地層が堆積した時代を予想した理由を指摘する問題や柱状図から考えられることを検討する問題など、思考・判断・表現が不得手である。	・図から考察する問題や理由を記述するなどの活動を多く行い、思考力・判断力・表現力を高めていく。